



### フイレンツェ5月音楽祭 〜スター歌手らが自宅から歌唱

欧州は現在再び音楽界のロックダウンに入り、生演奏の渴望感が高まっているが、代わりに、普段簡単には行かれない場所での公演や過去の名演もオンラインで聴く機会には恵まれた。一流のライブ演奏もBGMとして聴いてしまい、感動不感症になってしまうのではないかと心配になる一方、自宅にいながらにして、

こんな素晴らしい演奏を聴けるなんて、と文字通り感謝で天を仰ぐような体験も多々あった。

そんななかでベストを選ぶのは、ほぼ暴力的ですらある。それでも書き残すとしたら、フイレンツェ5月音楽祭が5月1日、3時間以上にわたって配信したアットホームコンサートだ。誰もいないフイレンツェ5月音楽祭劇場の舞台上に座るベレイラ総裁のイタリア語の司会はたどたどしく、配信技術的問題も多数発生し、後日話した歌手たちは揃って音質の限界を口にしたが、それでも30人弱のスター歌手が自宅等から届けるメッセージと歌は、絶望的な状況に置かれている聴衆や同僚たちをどれだけ力づけただろうか。

全員の名前を挙げられないのが残念だが、自宅から参加したディアナ・ダムラウやヨナス・カウフマン、ソーニャ・ヨンチエヴァ、亡命時代のワグナーも演奏したホテルから歌ったトーマス・ハンブソン、ロシアの音楽院から歌ったヴィクトーリオ・グリゴロ、弾き語りのチェーリア・バルトリ、そして最後はファビオ・サルトリの《誰も寝てはならぬ》(ブッチーニ《トゥーランドット》)からで高揚感とともにその幕を閉じた。そのときに感じたライブの一体感をわれわれは忘れないだろう。

(中東生)

#### ■公演データ

フイレンツェ5月音楽祭 ライブストリーミング・コンサート

日程 5月1日(出演)ディアナ・ダムラウ(S)、ヨナス・カウフマン(T)、他